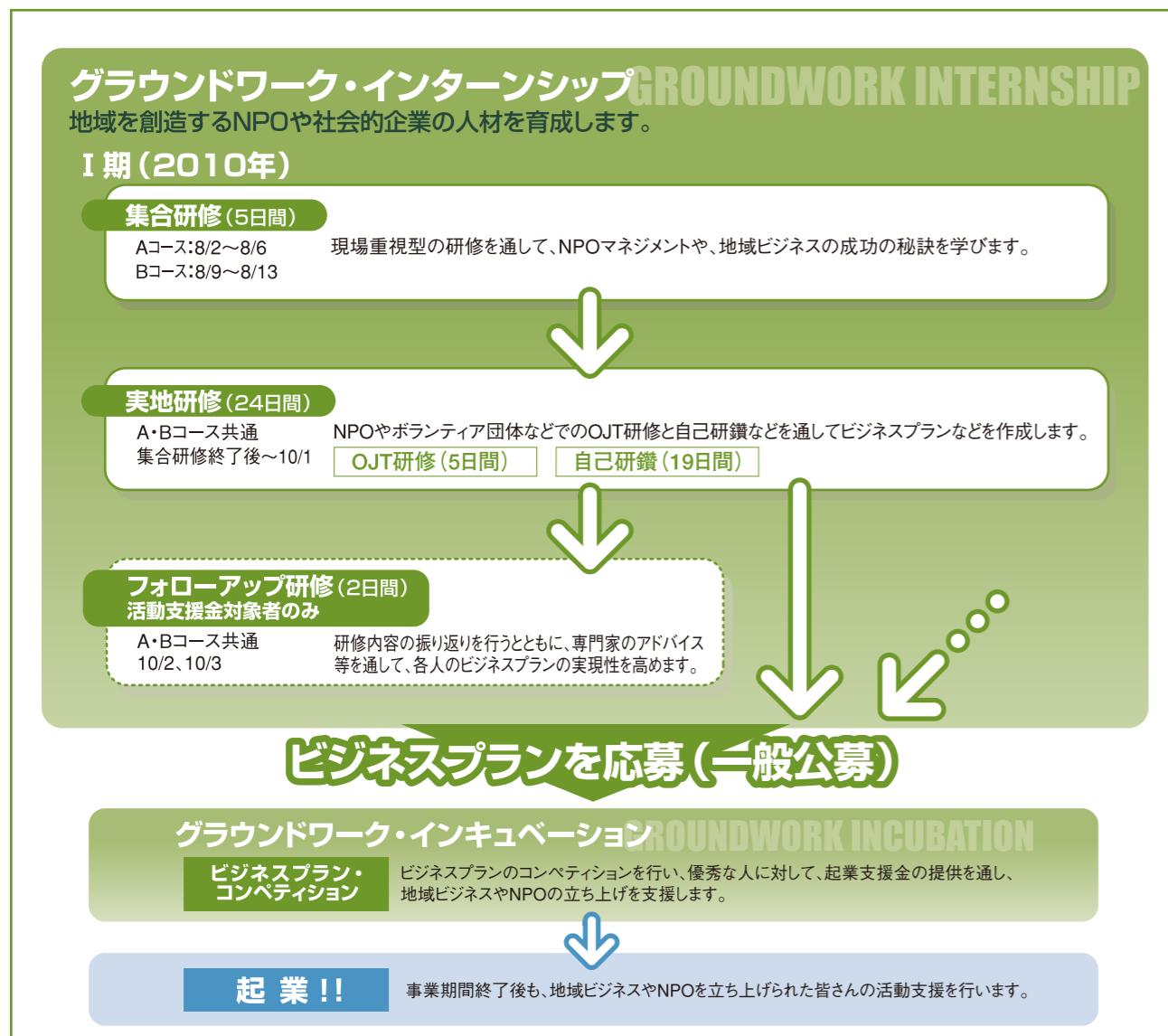


「グラウンドワーク・インターンシップ」とは



「グラウンドワーク・インターンシップ」は、Ⅱ期・Ⅲ期も開催します。  
合言葉は、「右手にスコップ、左手に缶ビール」、そして「議論よりアクション」。  
一緒に汗を流して、地域の元気を再生しませんか?  
お気軽にお問い合わせください。

## Ⅱ期(2011年)研修日程

日程は変更する場合があります。

実地研修(合計24日間) 集合研修終了後 ~5月 8日(日)

Ⅲ期(2011年)研修日程	
	日程は変更する場合があります。
A	7月16日(土)～7月20日(水)
B	8月1日(月)～8月5日(金)
C	8月8日(月)～8月12日(金)
D	8月27日(土)～8月31日(水)
E	9月3日(土)～9月7日(水)
F	9月17日(土)～9月21日(水)

# 地域を創造するNPOや 社会的企業の担い手を育成

グラウンドワーク・インターンシップは、内閣府「地域社会雇用創造事業」の一環として、NPOや社会的企業の人材を育成することを通して、地域社会における社会的事業と雇用を加速的に創造しています。

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島は、英国で始まったグラウンドワークを全国に先駆けて導入し、市民・NPO・企業・行政とのパートナーづくり活動を通じて、実践的な環境教育、環境再生、地域再生、農業再生、コミュニケーションビジネスなどの現場モデルを人材育成教材として活用する「グラウンドワーク・インターナシップ」を行うことになりました。

諸外国においては、NPOや社会起業家などの「社会的企業」は地域社会における雇用の担い手になっていますが、我が国では事業基盤も総じて弱く、潜在的な雇用吸収力をまだ發揮できていません。このため内閣府では、社会的企業の起業支援および、社会的企业へのインナーンシップをはじめとする研修等を通じ、こうした人材を速やかに発掘・養成し、地域社会における様々な生活関連サービスの事業と雇用を加速的に創造することを目的として、明日の安心と成長のための緊急経済対策

(平成21年12月8日閣議決定)  
として本事業を開始し、グランドワーク三島を含む12の事業者を選定したものです。  
「グラウンドワーク・インターナーシップ」においては、今後2年間で2400名のNPOや社会的企業の担い手を育成していくます。研修生の皆さんは、まず集合研修において、グラウンドワーク三島の実践現場に足を運び、NPO・社会的企業とは何か、地域社会の中で果たす役割、そしてマネジメントの手法などについて実践的・体験的に学んでいただきます。また地域のNPOやボランティア団体でのOJT研修において、多様な現場特性に即した運営ノウハウを身につけます。さらに、自己研鑽においては、集合研修やOJT研修での経験・知見を具現化するため、自分の所属するNPOなどのマネジメント強化や、新規事業の立ち上げに係るビジネスプランの作成などを行います。

「ンシップ」には、NPOやボランティア団体の職員、NPOや地域ビジネスの立ち上げを目指している方、そして大学生などから、定員400人を大きく超える申し込みがありました。全国から参加した研修生の熱気は、日に日に高まりをみせ、大盛況のうちに10日修了しました。

グラウンドワーク三島では、今後、「グラウンドワーク・インキュベーション」として、優秀者には平均100万円の起業支援金を提供するビジネスプラン・コンペティションの開催(実施)を予定しています。ビジネスプランは一般公募としつつ、「グラウンドワーク・インキュベーション」において、ビジネスプランの作成指導を行うことなどを通して、継続的なサポートを行うこと、そして起業支援事業支援に加えて、地域プロットの事務所を通じたきめ細やかなモニタリングを行うことなどを特徴です。

